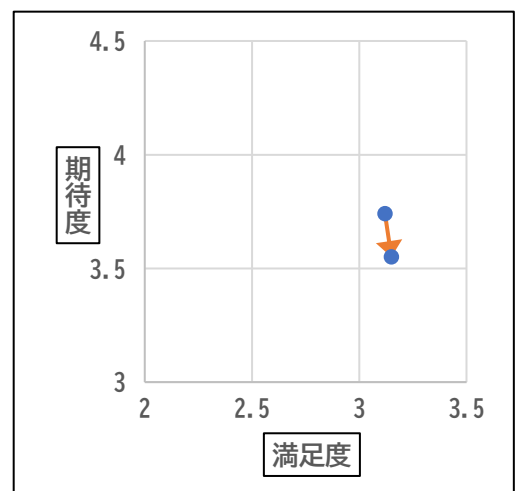


⑤環境-3 公園・水みどり

行政経営戦略基本計画	P71・72	統括担当課	水みどり課
まちづくりの目標	3 みどりうるおう環境を大切にするまち		
政 策	2 自然豊かな憩い、安らぐまちにします		
分 野	⑤環境	施 策	3 公園・水みどり
基本方向	誰もが安全に安心して利用できるよう公園を維持・保全するとともに、魅力向上に向けて取り組みます。また、憩いや活動の場となる河川・水路の利活用により、市民が緑にふれあう機会を提供します。		
分野計画	緑の基本計画		

■市民意識調査結果

実施年度	満足度	期待度
令和7年度	3.15	3.55
令和2年度	3.12	3.74



■施策の総括

1 緑と触れ合う機会の充実

■指標(KPI)の状況

花いっぱい活動団体数							
基準値	目標値	実績値					評価
		R3	R4	R5	R6	R7	
36 団体	40 団体	42 団体	44 団体	46 団体	47 団体	47 団体	◎
「摂津市内で花苗をよく目にする」と回答した市民の割合							
基準値	目標値	実績値					評価
		R3	R4	R5	R6	R7	
62.4% (令和2年度)	68.0%	72.4%	75.2%	65.2%	61.1%	65.7%	△

※年度の表記がない項目は、基準値…令和元年度の数値を示しています。

⑤環境-3 公園・水みどり

主な取組実績 (R3～R6 年度)	【水みどり課】 ・「花と木の実践養成教室」を延べ 86 回開催し、33 人が修了した。 ・「種から育てる花づくり活動」を延べ 104 回、1,099 人が参加した。 ・「花とみどりの相談所」で延べ 1,190 件の相談に対応した。 ・市内花壇の「花いっぱい活動」に緑化推進嘱託員を派遣し、延べ 457 件の相談に対応した。
主な取組実績 (R7 年度)	【水みどり課】 ・「花と木の実践養成教室」を 22 回開催し、4 人が修了した。 ・「種から育てる花づくり活動」を 31 回実施し、249 人が参加した。 ・「花とみどりの相談所」で 210 件の相談に対応した。 ・市内花壇の「花いっぱい活動」に緑化推進嘱託員を派遣し、115 件の相談に対応した。
分析・考察	・KPI「花いっぱい活動団体数」は、令和 7 年度実績が 47 団体であり、目標値（40 団体）を大きく上回ったため「◎」とした。 ・「花と木の実践養成教室」や「花とみどりの相談所」における継続的な支援が市民の意欲向上に寄与したためと考えられる。 ・KPI「『摂津市内で花苗をよく目にする』と回答した市民の割合」は、令和 3 年度から令和 7 年度の 5 か年平均で 67.9%であり、目標値（68.0%）にわずかに届かなかったため「△」とした。 ・活動団体数は増加しているものの、活動場所が特定の地域に偏っている可能性や、市民のライフスタイルの変化により花壇等を目にする機会自体が減っていることが推察され、活動が市民全体の実感として広く波及するまでには至っていないと考えられる。 ・市民意識調査において、本施策に対する満足度は令和 2 年度から微増（3.12→3.15）している一方、期待度（3.55）は依然として満足度を上回っており、緑と触れ合う機会に対する市民の関心の高さがうかがえる。属性別に見ると、期待度は 18～39 歳の若年層（3.65）や、在住年数 3 年未満の層（3.95）において特に高い傾向が確認できる。このことから、新たに本市へ転入してきた市民や、子育て世代を含む若年層は、まちの魅力としての「緑の豊かさ」や「日常的に緑と触れ合う機会」に対して強いニーズを持っていると考えられる。 ・これまでの「種から育てる花づくり活動」等の取組実績は、地域緑化の担い手育成や団体増加に大きく貢献してきたと評価できる。しかし、若年層や新転入者の高い期待に応え、花苗を目にする実感へとつなげるためには、活動の成果をより広く波及させる必要がある。今後は、緑の基本計画に基づき、若年層や新転入者のライフスタイルに合わせた効果的な情報発信を検討するとともに、市内の魅力的な花壇スポットや緑化活動の様子を広く周知・PR するなど、市民が緑にふれあう機会のさらなる充実に取り組む必要がある。

⑤環境-3 公園・水みどり

2 緑の機能向上・維持保全

■指標(KPI)の状況

「公園や緑地・緑道を利用する」と回答した市民の割合							
基準値	目標値	実績値					評価
		R3	R4	R5	R6	R7	
46.4% (令和2年度)	52.0%	58.8%	57.0%	49.0%	52.2%	42.9%	△
「摂津市内で花苗をよく目にする」と回答した市民の割合							
基準値	目標値	実績値					評価
		R3	R4	R5	R6	R7	
62.4% (令和2年度)	68.0%	72.4%	75.2%	65.2%	61.1%	65.7%	△

※年度の表記がない項目は、基準値…令和元年度の数値を示しています。

主な取組実績 (R3～R6 年度)	【水みどり課】 ・都市公園等において、遊具・公園施設の修繕工事やトイレリニューアル工事を実施した。 ・公園利用者や周辺へ支障のないよう、高木の剪定、低木の刈込等を行った。 ・緑化推進連絡会に所属する団体が管理する花壇等の除草、清掃及び花苗の入れ替えについて支援を実施した。 ・公園魅力向上実証実験として桜まつり in 健都明和池公園を開催した。 ・毎週日曜日及びこどもの日に、新幹線公園で0系新幹線及び電気機関車車両の内部公開を延べ198回実施し、29,342人の見学者が訪れた。 ・農業従事者を中心とした地元住民団体による水路清掃活動を延べ59回実施し、1,195人が参加した。
主な取組実績 (R7 年度)	【水みどり課】 ・都市公園等において遊具修繕工事を実施した。 ・毎週日曜日及びこどもの日に、新幹線公園で0系新幹線及び電気機関車車両の内部公開を53回実施し、6,519人の見学者が訪れた。 ・公園利用者や周辺へ支障のないよう、高木の剪定、低木の刈込等を行った。 ・緑化推進連絡会に所属する団体が管理する花壇等の除草、清掃及び花苗の入れ替えについて支援を実施した。 ・3号街区公園の園庭施設整備工事を行った。 ・農業従事者を中心とした地元住民団体9団体による水路清掃活動を12回実施し、246人が参加した。

⑤環境-3 公園・水みどり

分析・考察	・KPI『公園や緑地・緑道を利用する』と回答した市民の割合は、令和3年度から令和7年度の5か年平均が52.0%であり、目標値（52.0%）と同水準であった。しかし、令和7年度実績が42.9%であり、直近の減少傾向を踏まえ「△」とした。 ・近年の猛暑等の気候変動が影響し、屋外での活動が敬遠されていることに加え、公園等において日差しを遮る緑陰の確保など、気候変動に適応した快適な空間づくりに課題を残していることが要因として考えられる。 ・KPI『摂津市内で花苗をよく目にする』と回答した市民の割合は、令和3年度から令和7年度の5か年平均で67.9%であり、目標値（68.0%）にわずかに届かなかったため「△」とした。 ・活動団体による花壇の除草・清掃等の維持保全支援を行っているものの、市民全体の実感として花苗を目にする機会の増加には結びついていないと推察される。 ・市民意識調査において、居住地域別の満足度を見ると、第三中学校区（3.45）や第一中学校区（3.34）が高い一方、第四中学校区（2.93）や第五中学校区（2.99）などでは低い傾向がみられる。これは、魅力向上実証実験を行った健都明和池公園や、車両公開を行っている新幹線公園といった拠点となる魅力的な公園へのアクセス性が、地域間の評価の差に影響していると推察される。また、在住年数が長くなるにつれて満足度が低下する傾向（3年未満：3.49 → 30年以上：3.08）にあり、長年住むことで公園や緑が日常の一部となり、本来の魅力を実感しにくくなっていると考えられる。 ・これまでの遊具・トイレの修繕や公園樹木の剪定、水路清掃活動等の維持保全の取組は、安全安心な環境づくりに一定の成果を上げている。しかし、地域間の満足度格差や長期居住者の満足度低下に対応するためには、単なる維持管理にとどまらない工夫が必要である。今後は、緑の基本計画に基づき、誰もが安全に安心して利用できる公園の維持・保全を継続しつつ、地域ニーズに即した各地域の既存公園の計画的な遊具更新など、身近な憩いの場の魅力向上を図ることが求められる。
-------	---

⑤環境-3 公園・水みどり

3 緑化の推進

■指標(KPI)の状況

「公園や緑地・緑道を利用する」と回答した市民の割合							
基準値	目標値	実績値					評価
		R3	R4	R5	R6	R7	
46.4% (令和2年度)	52.0%	58.8%	57.0%	49.0%	52.2%	42.9%	△
「摂津市内で花苗をよく目にする」と回答した市民の割合							
基準値	目標値	実績値					評価
		R3	R4	R5	R6	R7	
62.4% (令和2年度)	68.0%	72.4%	75.2%	65.2%	61.1%	65.7%	△
「家庭で植物を育てている」と回答した市民の割合							
基準値	目標値	実績値					評価
		R3	R4	R5	R6	R7	
55.8% (令和2年度)	61.0%	59.4%	55.7%	59.3%	57.0%	56.2%	△

※年度の表記がない項目は、基準値…令和元年度の数値を示しています。

主な取組実績 (R3～R6年度)	【水みどり課】 - 公園や道路との接道部の緑地等に設置している花壇において、花壇活動の支援や維持管理を行った。 - 地域苗圃において、種から花づくりをする活動の支援をした。 - 花いっぱい活動団体へ花苗等原材料を助成した。
主な取組実績 (R7年度)	【水みどり課】 - 公園や道路との接道部の緑地等に設置している花壇において、花壇活動の支援や維持管理を行った。 - 地域苗圃において、種から花づくりをする活動の支援をした。 - 花いっぱい活動団体へ花苗等原材料を助成した。
分析・考察	- KPI『公園や緑地・緑道を利用する』と回答した市民の割合は、令和3年度から令和7年度の5か年平均が52.0%であり、目標値(52.0%)と同水準であった。しかし、令和7年度実績が42.9%であり、直近の減少傾向を踏まえ「△」とした。 - 近年の猛暑等の気候変動の影響による屋外活動の減少に加え、花壇の整備や地域の緑化活動による成果が、市民が思わず公園や緑道へ足を運びたくなるような直接的なきっかけとして十分に波及していないことが要因として推察される。

⑤環境-3 公園・水みどり

- ・KPI『『摂津市内で花苗をよく目にする』と回答した市民の割合は、令和3年度から令和7年度の5か年平均で67.9%であり、目標値（68.0%）にわずかに届かなかったため「△」とした。
- ・接道部の花壇活動支援や原材料助成を行っているものの、市民全体の実感として広く波及するまでには至っていないと考えられる。
- ・KPI『『家庭で植物を育てている』と回答した市民の割合』は、令和3年度から令和7年度の5か年平均が57.5%であり、基準値（55.8%）からは微増しているものの、目標値（61.0%）には届かなかったため「△」とした。
- ・住環境の変化（集合住宅の増加等）やライフスタイルの多様化により、家庭内での植物栽培が定着しづらい環境にあることが推察される。
- ・市民意識調査において、本施策に対する期待度は令和2年度の3.74から令和7年度は3.55へと低下している。家族構成別に見ると、単身世帯の満足度(3.26)が比較的高い一方で、三世帯世帯(2.94)や親と同居する世帯(2.98)では低い傾向が見られる。このことから、現状の緑化の取組に対しては一定の評価があるものの、世帯形態や住環境に応じた緑との関わり方にミスマッチが生じており、現在の取り組みだけでは多様化する市民ニーズや新たな期待を十分に引き出せていない可能性がある。
- ・接道部の花壇活動支援や花いっぱい活動団体への原材料助成といった取組実績は、地域における緑化推進に貢献していると評価できる。しかし、家庭での緑化促進や三世帯世帯等へのアプローチには課題が残る。今後は、分野計画「緑の基本計画」に基づき、市民協働による緑化を推進するため、住環境を問わず家庭で手軽に実践できる緑化手法の啓発や、世代を問わず緑化の魅力や活動の様子が伝わるような効果的な情報発信など、ライフスタイルに合わせたアプローチへの転換が求められる。